

英国金融政策（2024年6月）

7会合連続で政策金利を据え置きも、利下げに傾斜

2024年6月21日

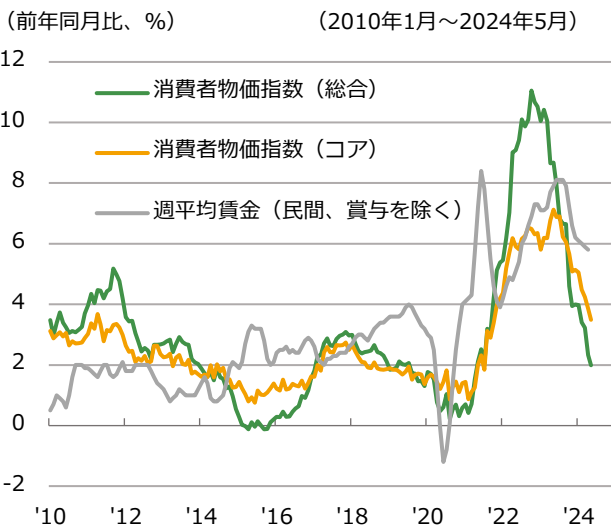
利下げとの間で「微妙な決定」として据え置きを支持した委員が複数

BOE（イングランド銀行）は6月19日（現地、以下同様）に終了した金融政策委員会で、市場予想通り7会合連続で政策金利を5.25%に据え置く決定をし、20日に発表しました。前回同様7名が据え置き、2名が0.25%ptの利下げを支持しました。しかし、据え置きを支持した7名のうち、利下げとの間で「微妙な決定」であった委員が複数名いて、全体として利下げに一段と傾斜した様子が窺えます。

声明文の内容はさほど変化していません。金融政策報告書の公表回ではありませんが、最近の経済指標の強さから、4-6月期の実質GDP成長率見通しを上方修正した旨が、議事録に記されています。消費者物価指数は19日に発表された5月分が総合で前年同月比+2.0%まで鈍化しました。象徴的な出来事ですが、エネルギー価格の下落の影響が大きく、BOEも市場も予想していた範囲で、サプライズではありません。議論の焦点はサービス価格で、こちらは5月分も+5.7%と、1年前の+7.4%のピークから鈍化しているものの、伸び率は高いままです。それでも、5月の数値は公的な、或いは変動の大きい費目の寄与が大きかったことや、最低賃金の引き上げの影響が今後は限られそうなことなどを理由に、中期的なインフレ率を押し上げるものではないとの判断が、「微妙な決定」であった複数の委員の根拠として記されています。

英国のインフレ率が他の先進国と比較して特異的に高い状況ではなくなりつつあります。来月公表の賃金、物価関連指標が大幅に上振れなければ、BOEは8月に利下げを開始すると予想します。

英国の消費者物価指数と週平均賃金



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
※週平均賃金は3カ月移動平均で2024年4月まで (出所) LSEG

英国の金利と為替



※政策金利は発表日ベース (出所) ブルームバーク

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。